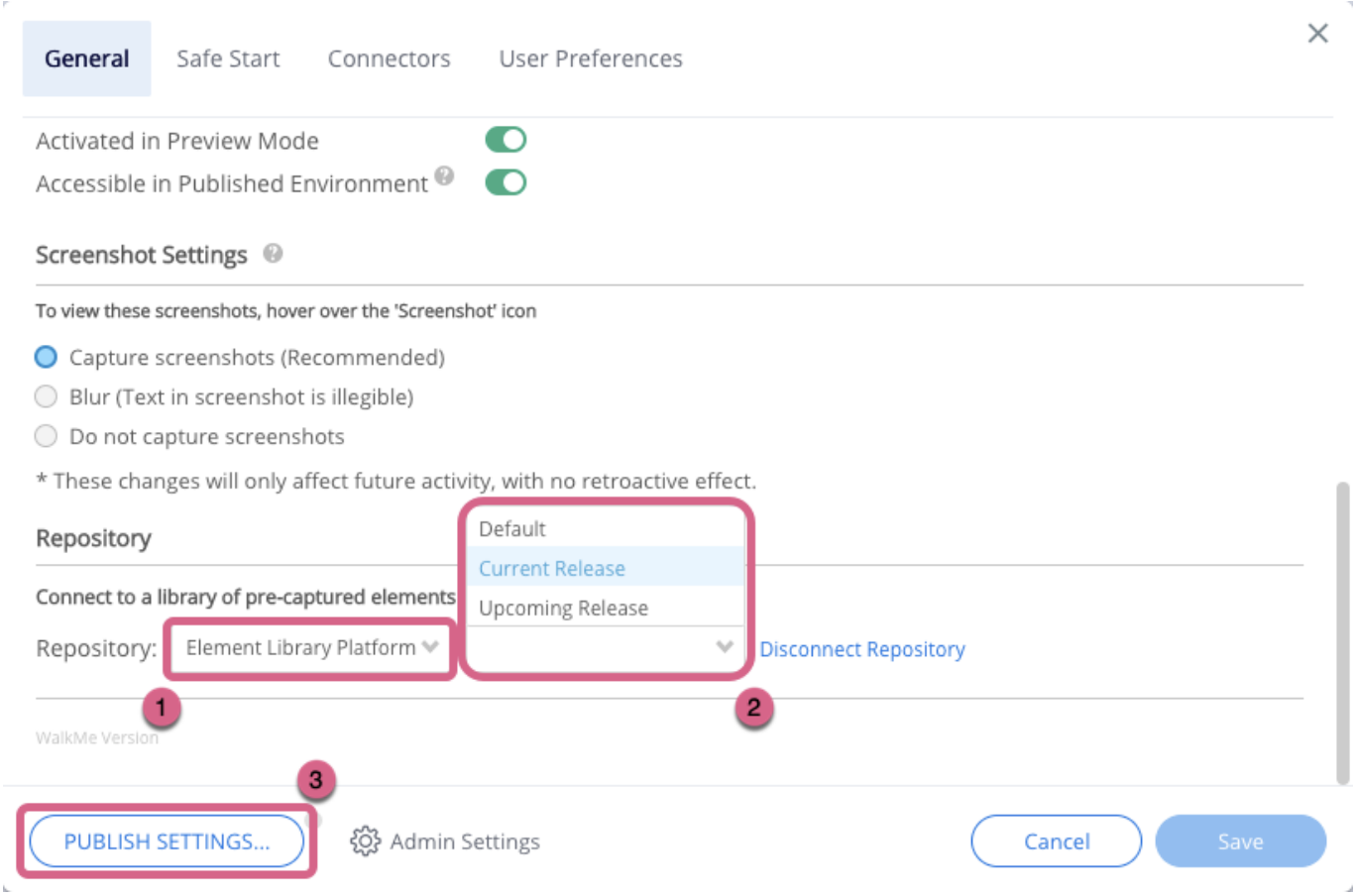
Element Library Repository でリリース管理

概要

Element Library エレメントライブラリ） の有無にかかわらず、WalkMe構築者は、プラットフォームサンドボックスが本番環境とは異なるバージョンである場合、移行期間中に細心の注意を払う必要があります。 これらの場合、構築者はコンテンツを構築している環境と、そのコンテンツを公開している環境を認識する必要があります。そうでなければ、プラットフォームバージョン間のユーザーインターフェース（および HTML の違いにより、コンテンツの欠陥が発生する可能性があります。

エレメントライブラリを利用して、選択したエレメントの一部を更新することで、顧客のメンテナンスの負担を軽減することを目指しています。 大半の顧客のサンドボックスにプラットフォームのメジャーリリースを行った最初の1週間以内に、WalkMeはプラットフォームのエレメントライブラリをテストし、影響を受けたエレメントを再取得します。

用語



1. **Element Library (repository) Platform エレメントライブラリ［リポジトリ］プラットフォー**

ム）：
    - このドロップダウンでは、アカウントが接続されているエレメントライブラリが表示されます。
    - WalkMeサポート/サービス/製品チームのみが、必要に応じて調整する必要があります。
2. **エレメントライブラリバージョン：**
    - これはWalkMe Editorの一般設定メニューの［Repository（リポジトリ）］セクションにあります。
    - ドロップダウンにはプラットフォームのエレメントライブラリのバージョンが表示されます。
        - バージョン名はプラットフォームのリリース名に対応します。
    - バージョンを切り替えることができるので、いつ、どこで最新のエレメントライブラリのバージョンを公開するかという柔軟性が得られ、現在のリリース用のコンテンツの構築（本番環境経由）と最新のリリース用のコンテンツの監査（サンドボックス環境経由）を同時に行うことができます。
        - メンテナンスのニーズに合わせて、この設定を自由に調整してください。
3. **グローバル設定の公開：**
    - このボタンを押すと、特定のコンテンツのデプロイ可能アイテムを公開せずに、指定した環境にグローバル設定を公開することができます。

- **メジャーリリース**
    - ソリューションアクセラレーターによりサポートされた各プラットフォームは、プラットフォームの最新バージョンを提供するよう設計されており、年数回にわたり主要なソフトウェアリリースを行っています。
        - 年間を通じて自動的に適用する多数の小規模なリリースを繰り返すことができる一方、大規模なバッチ（メジャーリリース）でのみこれらをまとめてリリースすることもできます。
    - 例：
        - Salesforce Lightning – 2020年冬、2020年春および2020年夏
        - Workday® – 2020年リリース1および2020年リリース2
        - Oracle HCM – 20A、20B、20Cおよび20D
        - Microsoft Dynamics CRM – リリースウェーブ1とリリースウェーブ2

メジャーリリースプロセス

1. プラットフォームのメーカーは、メジャーリリースがサンドボックスに追加されたときに顧客に知らせます。
2. 大半の顧客のサンドボックスにプラットフォームのメジャーリリースを行った最初の1週間以内に、ソリューションアクセラレーターチームは、WalkMe Worldの「Product News & Updates（製品ニュースとアップデート）」フォーラムにエレメントライブラリのステータスに関するアップデートを投稿します（アカウントマネージャーにもお知らせします）。
3. プラットフォーム環境に対応するエレメントライブラリのバージョンを選択します。
    - ソリューションアクセレレーターチームがテストを完了した後、これはエレメントライブラリのバージョンのドロップダウンで利用可能になります。
4. 設定の公開を完了することで、新しいエレメントライブラリのバージョンを公開します。
5. 通常の品質保証テストを進め、必要に応じてコンテンツを調整します。

技術的概要

- グローバル設定
  - エレメントライブラリは、グローバル設定に分類されます。WalkMe環境への公開アクションを行うと、エレメントライブラリのバージョンはその環境内のコンテンツに渡されます。
  - 例：公開プロセスはCSSの設定公開と似ています。
- バージョンの切り替え
  - リリース中は、現在のプラットフォームバージョン（本番環境で使用）と次期のプラットフォームバージョン（サンドボックス環境で使用）の2つのバージョンからエレメントライブラリを選択することができます。
    - これにより、新しいエレメントライブラリのバージョンを本番インスタンスのプロモーションと最新のメジャーリリースに合わせることができます。
- バージョンの互換性
  - エレメントライブラリのバージョンは、新旧バージョンとの前方/後方互換性はありません。
    - プラットフォームのユーザーインターフェイスが変更されていない場合、新しいバージョンはプラットフォームの以前のプラットフォームリリースでも動作する場合がありますが、最新のバージョンの使用をお勧めします。
- デフォルトのバージョン
  - このバージョンは、プラットフォームの標準的な本番リリースサイクルに関連付けられています。
- プラットフォームのリリーススケジュール
  - WalkMeエレメントライブラリはプラットフォームの主要なリリースのスケジュールにのみ従います。

よくあるご質問

現在のリリース、あるいは次期のリリースとはどういう意味ですか？

- リリースは、現在プラットフォームの本番環境にあるものによって定義されます。
- プラットフォームのメジャーリリース移行期間（メジャーリリースがプラットフォームの本番環境に移行するまでの期間）では、これらの用語の定義は少し難しくなります。
  - 次期/新リリースは、現在プラットフォームの本番環境にあるバージョンを置き換えるリリースを指します。
  - 現在のリリースは、現在プラットフォームの本番環境にあるリリースを指します。

Editorを最新のエレメントライブラリバージョンに更新すると、コンテンツにどのような影響がありますか?

- WalkMe環境に公開すると、現在エレメントライブラリ（リポジトリ）のエレメントを使用しているコンテンツ（Smart Walk-Thru step、ロジック、Launcher、SmartTipなど）は、最新/次期プラットフォームリリースからキャプチャーされたエレメントに更新されます。
- 最新のエレメントライブラリバージョンのエレメントは、最新のプラットフォームのリリースバージョンに対してテストされ、以前のプラットフォームのリリースから最新のプラットフォームリリースへの変更のみ更新されます。

最新のリリースに対してコンテンツをテストできるようにエレメントライブラリを更新するにはどうすればよいですか?

1. バージョン（#2）を最新のプラットフォームのリリースに対応するバージョン名に切り替えます。
2. プラットフォームの最新リリースでサンドボックスに添付されているWalkMe環境にコンテンツを公開します （通常どおり）。
3. コンテンツをテストして必要に応じて調整します。



注：

本番環境に公開する必要がある場合は、現在の本番環境でのリリースを反映するようにバージョンを調整してください。

サンドボックスがすでに次期リリースになっている場合、現在のリリースにある本番環境用のコンテンツを構築して公開するにはどうすればいいですか？

- 本番環境とサンドボックス環境の両方が同じリリース（本番環境が新しいリリースに移行したら）になるまで、プラットフォームの本番環境へWalkMeコンテンツをリリースしないことをお勧めします。 これはプラットフォームのリリースに合わせて新しいコンテンツを構築する絶好の機会です。
- この移行期間中にコンテンツを公開する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

    1. WalkMe Editor内のバージョン（#2）を、プラットフォームの本番環境でのリリースに切り替えます。

2. プラットフォームの**本番**環境でコンテンツを構築します。
3. プラットフォームの本番環境のWalkMeプレビューでテストします。
4. プラットフォームの本番環境でコンテンツをユーザーにリリースする準備ができたら、WalkMeの本番環境に公開します。

注：

バージョンを次期リリースに切り替えて、本番の変更が完了したら保存をクリックします。 プラットフォームの本番環境が最新のリリースに切り替わるまで、WalkMeの本番環境に最新のエレメントライブラリのバージョンを公開しないでください。

エレメントライブラリのバージョンを 「デフォルト」に設定したままにすることはできますか?

- はい、しかし、プラットフォームの本番インスタンスが最新のバージョンに移行するまでエレメントライブラリの最新バージョンをテストすることはできません。

間違ったWalkMe環境に間違ったエレメントライブラリのバージョンを公開してしまった場合はどうすればいいですか？

- ご安心ください。 間違いを修正するのは非常に簡単です。 以下の手順に従ってください：

  1. バージョン（#2）を、調整が必要なプラットフォーム環境で現在のプラットフォームリリースに対応するバージョン名に切り替えます。
  2. グローバル設定を公開して、調整が必要なターゲットプラットフォーム環境に接続されているWalkMe環境を選択してください。